

聖書は、神様が罪をさばくと教えています。そして、さばかれるものは、炎の池に投げ込まれることも教えています。

では、生きる希望は存在するのでしょうか？地獄に行かなければいけないのでしょうか？今回は、自分が向かっている場所を変える方法を見ていきます。

## 神様との和解

- 罪によって崩れた関係をなおすために、神は計画を立てました（創世記 3:6~9、3:14~16 イザヤ書 53:1~6）
- 神様が、罪深い人に近寄ってきたのです（ローマ 5:8）

## 仲介者—イエス・キリスト

- イエス様は、人と神様の間に立てる唯一の仲介者です（1テモテ 2:5）
- イエス様が神様でありながら、人間として罪のない生涯を終えました。私たちの罪のために十字架で死なれ、生き返りました。（ピリピ 2:6~8、ヘブル 4:14~15、1コリント 15:3~6、2コリント 5:21）
- イエス様を信じたら、罪が許されると聖書は教えています（ヨハネ 3:36、5:24、ローマ 10:9~10）
  - 信じることは、イエス様の存在を認めるだけのことではありません（ヤコブ 2:19）
  - 信じることは、自分の身を預けるまたは委ねるといみです。
- 聖書は、イエス様だけが罪から救われる方法だと教えています（ヨハネ 14:6、使徒 4:10~12）

宿題：

新約聖書にある、「ヨハネの福音書」の15章~21章まで読んでください。読みながら、こちらの質問に答えてみてください：

1. ヨハネ 15 で、イエス様は自分を何にたとえましたか？

---

2. ユダヤ人たちは、ヨハネ 19:12~16 で何を希望しましたか？

---

3. ヨハネ 19:32~37 で、兵士たちは、イエス様の足を折る代わりに何をしましたか？

---

4. ヨハネ 20:31によると、ヨハネの福音書が書かれた理由は何でしょうか？

---

5. ヨハネ 20 とヨハネ 21 に、復活したイエス様を目撃した様々な人の名前が出てきます。いくつか書いてみよう。

---

聖書は、神様が罪をさばくと教えています。そして、さばかれるものは、炎の池に投げ込まれることも教えています。

では、生きる希望は存在するのでしょうか？地獄に行かなければいけないのでしょうか？今回は、自分が向かっている場所を変える方法を見ていきます。

## 神様との和解

- 罪によって崩れた関係をなおすために、神は計画を立てました（創世記 3:6~9、3:14~16 イザヤ書 53:1~6）
- 神様が、罪深い人に近寄ってきたのです（ローマ 5:8）

## 仲介者—イエス・キリスト

- イエス様は、人と神様の間に立てる唯一の仲介者です（1テモテ 2:5）
- イエス様が神様でありながら、人間として罪のない生涯を終えました。私たちの罪のために十字架で死なれ、生き返りました。（ピリピ 2:6~8、ヘブル 4:14~15、1コリント 15:3~6、2コリント 5:21）
- イエス様を信じたら、罪が許されると聖書は教えています（ヨハネ 3:36、5:24、ローマ 10:9~10）
  - 信じることは、イエス様の存在を認めるだけのことではありません（ヤコブ 2:19）
  - 信じることは、自分の身を預けるまたは委ねるといみです。
- 聖書は、イエス様だけが罪から救われる方法だと教えています（ヨハネ 14:6、使徒 4:10~12）

宿題：

新約聖書にある、「ヨハネの福音書」の15章~21章まで読んでください。読みながら、こちらの質問に答えてみてください：

1. ヨハネ 15 で、イエス様は自分を何にたとえましたか？

---

2. ユダヤ人たちは、ヨハネ 19:12~16 で何を希望しましたか？

---

3. ヨハネ 19:32~37 で、兵士たちは、イエス様の足を折る代わりに何をしましたか？

---

4. ヨハネ 20:31によると、ヨハネの福音書が書かれた理由は何でしょうか？

---

5. ヨハネ 20 とヨハネ 21 に、復活したイエス様を目撃した様々な人の名前が出てきます。いくつか書いてみよう。

---